

トマトパークだより
第 40 便
2019 年 11 月



『オランダからのインターンシップ プーイさんだより』

オランダロッテルダム大学からきたインターンシップ生のプーイです。オランダのデン・ハーグ (Den Haag) という都市に住んでいます。

少しだけデン・ハーグの街についてご紹介します。オランダには 12 州の都市があります。その中の 1 州、南ホラントにあるデン・ハーグ。この街はオランダ政治の中心となる都市で、世界中の国際問題の裁判もしています。(写真 1)

もし、観光でデン・ハーグに来るなら、日本でも有名なフェルメール作「真珠の耳飾りの少女」が展示されているマウリッツハイス美術館をぜひ見に行ってください！！



写真 1 オランダのビネンホフ
(日本の国会議事堂に相当)



写真 2 ハーグの中心街

株式会社誠和(以下、誠和)にインターンシップに来ることになったきっかけは、株式会社 Delphy Japan のデニスさんからの紹介でした。私は日本語の勉強のためにインターンシップを考えていました。そんなとき、私と同じ大学出身だったデニスさんと大学の日本語の先生が知り合いで、インターンシップ先なら、と誠和を紹介してもらいました。

9 月 2 日から 12 月 6 日までこの誠和にいます。誠和では、日本の施設園芸データの分析、またパンフレットやカタログなどの広告を制作しています。

他には、ハウスでイチゴやトマトの栽培作業をしました。オランダにいるとき叔母が経営しているレストランに直接農家の人が野菜を持ってきてくれるくらいの触れ合いしかなかったため、ハウスでの作業は楽しかったです。



写真 3 叔母の経営している
レストラン

では、次にオランダのトマト情報をご紹介します。下の表はオランダの最近のトマト栽培についてです。

表 1 オランダのトマト収穫量と栽培面積

年	2015	2016	2017	2018
トマト				
収穫量(単位: x1,000t)	890	900	910	900
栽培面積(単位: ha)	1755	1755	1790	1788

最近のオランダは栽培する面積も収穫量も大きな変化はありませんが、安定して多くのトマトを収穫しています。

次の表は、日本とオランダの輸出入関係を示しています。日本はまだ多くの作物をオランダから輸入しているのがわかります。

表 2 2018 年オランダから輸入している品目

品目	金額(円)
花球根	5,395,310,386
切り花	713,708,226
トマト	405,117,420
パプリカ	291,861,161
いちご	193,666,487
植物(観賞用など)	140,362,209
他作物	1,981,000

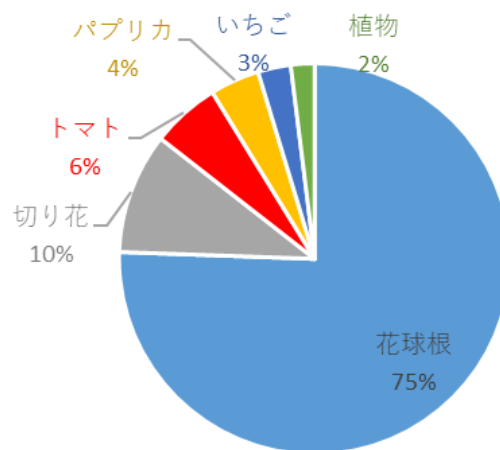


図 1 2018 年オランダから輸入している品目

オランダはチューリップの国なので花球根の輸出が最も多く、次に切り花、トマトと続きます。2017 年と比べてみると、日本への輸入が 17%増加しました。

～オランダ人からのトマトアドバイス～

買い物の後、果物や野菜は当然のことながら冷蔵庫に入れられることがよくあります。でもトマトは 12℃で保存したほうが良いです。12℃ということは、冬にはトマトは冷蔵庫に入れずに常温での保存が良いです。あまりにも低い温度で保存されたトマトは、採れたてのトマトとは非常に異なった味がします。

次の物もオランダでは冷蔵庫に入れていない作物です。

ジャガイモ、バナナ、バジル、レモン、キュウリ、マンゴー、ピーマン

～トマトパークを見学して～

デン・ハーグでは自分の庭で自家栽培をする小さなハウスはありますが、トマトパークのような大きなハウスはないので、トマトパークを初めて見たときに大きさにも驚きましたが、オランダっぽさもあり、びっくりしました。

また、トマトパークのパートさんに若い人が多く、オランダでは農業をしているのはおじいちゃんおばあちゃんが多いので、ここも驚きました。

トマトパークアカデミーのお話では研修生への寮の提供、食事の提供をしていると聞きました。オランダではあまり考えられないので感動しました。

またトマトパークで糖度を高くしたトマトを食べせてもらいました。見た目はミニトマトのように小さく丸かったです。オランダではミニトマトは日本のように丸くなく、少し長いミニトマトです。味は日本のほうが甘く、オランダは少し酸っぱいです。

私はオランダのミニトマトより食べさせてもらった高糖度のトマトのほうが甘く好きでした。



写真4 オランダ マクドナルドの Happy セット
(このセットではミニトマトが付いてきます！)

トマトパークはオランダの施設や技術を取り入れ、目標収量 70t/10a を目指しています。日本のハウスの中でもトップクラスということで、オランダの収量に近づける施設だと思っています。

今後のトマトパークの活躍をオランダに帰った後も楽しみにしています。

『トマトパーク栽培状況 11月』

大玉トマト ー栽培室①ー【栽培ノート：2019年10月16日～2019年11月15日】

定植：2019年8月17日	
品種 穂木：りんか409（株式会社 サカタのタネ）、台木：フレンドシップ（株式会社 サカタのタネ） 栽植密度 3.12本/m ²	
生育状況 (11月15日現在)	総草丈：263.3cm、茎径：10.5mm、葉数：20枚、 開花花房：8.3段、収穫段数：3.5段
栽培作業 (11月15日～)	誘引、直上葉・下葉の摘葉、吊りおろし、摘花、わき芽取り、 収穫
病虫害防除 (11月15日～)	コナジラミ防除、サビダニ防除、灰色かび病防除

ミニトマト ー栽培室③ー【栽培ノート：2019年10月16日～2019年11月15日】

定植：2019年8月17日	
品種 穂木：TY千果（タキイ種苗 株式会社）、台木：グリーンセーブ（タキイ種苗 株式会社） 栽植密度：3.12本/m ²	
生育状況 (11月15日現在)	総草丈：410.6cm、茎径：9.9mm、葉数：15枚、 開花花房：11.8段、収穫花房：6段
栽培作業 (11月15日～)	誘引、直上葉・下葉の摘葉、吊りおろし、摘花（ダブルに）、 わき芽取り、収穫
病虫害防除 (11月15日～)	コナジラミ防除、サビダニ防除、灰色かび病防除



写真5 大玉トマトの様子



写真6 ミニトマトの様子